

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 26年 3月 23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3473200388		
法人名	医療法人社団たくみ会きむらクリニック		
事業所名	安芸ひまわり		
所在地	広島県安芸郡海田町日の出町2-9 (電話) 082-821-2525		
自己評価作成日	平成26年2月25日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokensaku.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_2013_022_kani=true&JigyosyoCd=3473200388-00&PrefCd=34&VersionCd=022
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成26年3月14日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

クリニックが経営しているので、医療、薬剂的にバックアップ体制が整っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当事業所は、海田町福祉センター傍の閑静な住宅街にあり施設開設当初より海田町で最初のグループホーム施設ということで、海田町役場に施設建設にあたって住民説明会の協力を頂くなど連携も密で現在も定期的な会合をされている。事業所の法人母体は医療法人社団たくみ会きむらクリニックで、利用者の健康面の管理指導をクリニック看護師が定期的に訪問しているので利用者・家族にとっては安心感がある。法人理念「地域社会に貢献奉仕する」を基に開設当初より地域との繋がりを大切に考え、施設3階の多目的スペースを地域の方へ開放し町内会の会合等に利用されている。又、職員も経験が豊富で定着率も良く利用者の生活を支援する信頼関係を築くためユニット間の職員の異動は最小限にして利用者・家族本位の視点で支援が行われている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	地域のの人たちとの交流を通して、地域の一人として暮らしていけるように支えていくことをミーティングや掲示により確認している。目標を立てたりしている。	法人理念「地域社会に貢献奉仕する」を基に事業所運営方針「快適な環境での快適な人間関係・制約のない生きがいのある生活・一人の人間として尊重される生活」があり、職員が理念を共有するため、各ユニットが持ち回りで年間目標を立案しその目標を実践共有している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している。	近所のの人たちとのあいさつ、お話し、声かけをしたり、祭りなどの行事の参加やボランティアの受入れをしている。	近隣地域との信頼関係は出来ており、施設内外行事・運営推進会議・火災避難訓練などにも地域の住民が参加されている。又、3階の多目的スペースは、地域の方にも開放されていて地域の会合、イベントなど活用されている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	運営推進会議で説明をし、理解をしてもらい、地域の行事の参加や学生たちとの交流をしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	会議で事業所の報告をし、出席者の意見を会議後のミーティングで検討、対応をしている。	運営推進会議は、家族・地域代表・町職員・地域包括支援センター職員・民生委員等が参加され、多職種の意見が聴取され、その意見を職員会議で検討を行いサービス向上に活かしている。	運営推進会議の実施回数が少なく、参加者メンバーが毎回同じメンバーである。今後については、地域の住民・家族の参加人数を増やし、より多角的な視点からの意見を聴取して、サービス向上に活かされることを期待したい。
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	管理者が町の方へ訪問したり、町の職員が来られたりして、話をする機会を作っている。	この施設は、海田町初のグループホーム施設のため開設当初より地域住民への施設建設の説明会にも町の職員が参加され、現在も密に連携を取られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないようにミーティングや資料の回覧などで確認をして理解するようにしている。やむを得ない場合を除いて、鍵をかけないようにしている。</p>	<p>職員会議・リーダー会議に、「身体拘束しないケア」について施設長自ら指導にあたり、その都度会議及び回覧にて指導している。ユニット出入口・エレベーターにもロック、鍵はかけず利用者が自由に行き来き出来るようにしている。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>虐待のことをミーティング、講習会、資料などで理解する機会を設け、虐待が見過ごされることがないように職員同士が気をつけている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>講習会、資料、ミーティングなどで学ぶ機会を設けている。必要性があれば、その都度対応をしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約の凍結、解約、改定などは、利用者や家族が納得できるように説明をして、相互に理解するようにしている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>随時、担当の職員や管理者が話し合いの機会を設け、対応している。町への連絡先は契約書に表示しており、運営推進会議でも話し合いをしている。</p>	<p>利用者・家族に対するアンケート調査の実施及び面会等の家族来所時に、担当職員や管理者が運営状況を説明しながら家族の意見意向を聞き施設の運営サービスに活かしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的にリーダー会議をしており、必要性があれば、随時、対応している。</p>	<p>毎月1回の職員会議及びリーダー会議で、職員意見が反映されている。ボランティアをお願いしての行事の開催など、職員の提案意見をサービス向上に活かしている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員の実績、勤務状況に応じて、担当や責任を持たせたりして、それらに対して給与に反映をしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>機会をみて、研修会に参加させたり、現場で指導したりしている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>地域の特別養護老人ホームや居宅介護支援事業所、地域包括センターなどとの交流機会があり、情報交換している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>本人からの意見を聞いたり、質問したりして、理解、納得出来るように説明をしながら進めていくようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>家族からの意見を聞いたり、質問したりして、理解、納得出来るように説明をしながら進めていくようにしている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>本人や家族から現状、要望を聞いて、今必要としているサービスを検討し、対応している。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>職員は本人との一方的な立場にならないように、相互が理解し、支えていき、信頼関係がよくなるように心がけている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>職員と家族がお互いに相談し、考えてもらえながら信頼関係をよくして、本人を支えていくように心がけている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>機会をみて、馴染みの人に連絡し面会に来てもらったり、馴染みの場所に訪問したりしている。</p>	<p>利用者・家族の要望があれば出来る限り対応し、馴染みの場所（居酒屋・回転寿司・お墓参り）などに職員が同伴している。以前に面会に来られた利用者の友人に連絡をとり来所をお願いするなど、きめ細かい対応で地域との繋がりが途切れないように支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>いろいろな行事を開催したり、地域の行事に参加したりして、利用者同士の交流をしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>必要に応じて、利用者や家族には連絡を取り合ったり、面会したりして関係がなくならないようにしている。</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>本人の要望をできるだけ意向に沿うように心がけている。困難な場合は、家族に相談しながら対応している。</p>	<p>利用者・家族との日頃の会話や催しの際の意見交換などで、意見意向を収集している。把握が困難な場合は、利用者・家族と対応する中で意向を汲み取るように努めている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>今まで暮らしてきた環境を考慮しながら、本人にあった環境づくりを整えるようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>本人の状況をみながら、出来ること、支えていくところを判断しながら進めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>本人や家族などの意見を取り入れ、ケアマネージャーと相談しながら、ミーティングで検討して、現状を踏まえて、介護計画に反映している。</p>	<p>利用者・家族・ケアマネージャー・職員・関係者と話し合いの場を持ち検討を行い、利用者がより良い暮らしが出来るように介護計画に反映している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>日々の様子などは各本人の記録に記入しており、ケアマネージャーと相談しながら、ミーティングで検討し、介護計画を見直したりしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>今までの環境、現況に応じて、事業所で出来ることは、出来る限り、随時、柔軟に対応している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>本人の意向に応じて、地域の行事に参加したり、ボランティアの方々に協力してもらいながら対応している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>本人や家族などの要望を取り入れて、かかりつけ医と事業所の関係をよくしている。必要があれば、他の医療機関の受け入れも対応している。</p>	<p>家族の要望で、かかりつけ医がおられる方は、その病院で受診されている。家族が同行出来ない場合は、職員が同行し受診内容については即日報告し情報を共有している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。</p>	<p>介護職員はいつでも看護職員との相談ができ、必要であればいつでも受診や訪問看護を受けられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>いつでも対応ができるように情報交換をしていて、地域の医療機関との連携に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人や家族などの意向に沿うように、かかりつけ医と相談しながら関係者と重度化等の支援に取り組んでいる。</p>	<p>本人家族の要望意向を踏まえて看取りの対応も行っている。過去に数例看取り対応の実績があり、早い段階から本人・家族・かかりつけ医又は、法人クリニック医師と相談を行いながらチーム支援を行っている。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。</p>	<p>ミーティングで情報を共有して、基本的なマニュアルを作成して取り組んでいる。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>消防職員との協力により避難訓練を実施したり、運営推進会議で地域の関係者の方々に協力をお願いしている。</p>	<p>消防署の協力を得て年2回の火災避難訓練を実施している。地域関係者にも声掛けして避難訓練には地域の住民も参加し実施している。過去には消防署と連携して消防車を数台使用しての町内を巻き込んだ大掛かりな避難訓練を実施し地域との協力体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	一人ひとりの人格を尊重して、気分を害さない、失礼のない丁寧な言葉で対応している。	開設当初より目上の方への対応・言葉使いについての教育が職員に徹底されている。生活の中で馴れ合い的な声掛けは、良しとせず、職員は絶えず人格を尊重した丁寧な声掛けを心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	本人の意向に沿うように、声かけや誘導したりして自己決定が出来るような支援に努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの状況を把握して、本人の意向に沿うように心がけている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	本人の意向に沿うように、出来ることは職員が対応したり、美容院の方に来てもらったりして身だしなみやおしゃれに対応している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来る限り一人ひとりの好みに合うように工夫して調理し、職員と一緒に食事をしている。正月や敬老の日には特別な弁当を準備している。	家族の協力を得て利用者の好みに合った調理等を工夫し、偏食しないようにしている。食事毎に体操を取り入れたり、その人に応じて準備・片づけをして頂き食欲の増進になるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	一人ひとりの毎食の記録をみれば状況が分かるようにしており、状態をみながら対応している。		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	毎食後、一人ひとり歯磨きをしており、定期的に歯医者が来られみてもらっている。		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	定期的にトイレへ誘導して、排泄してもらい、失敗やおむつの使用を減らすようにしている。	利用者の排泄パターンを把握して、その都度声掛けしトイレ誘導を行っている。夜間も出来る限り声掛けしトイレに誘導して排泄して頂くなど、その人に合わせた自立に向けた支援がされている。	
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	個々の状況をみながら医師、薬剤師、看護師に相談して、食事の改善、運動の取り入れを行いながら便秘予防に対応している。		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	出来るだけ一人ひとりの要望を取り入れながら、入浴を楽しむように対応している。	入浴時間は11:00～15:00の間で、利用者の希望の時間帯に入浴して頂いている。週に均等回数入浴して頂くよう声掛けを工夫し支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人ひとりの状況をみながら、いつでも休んだり、眠ったりできるように対応している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	一人ひとりの薬についての資料が薬局から届いており、それらを理解して、服薬をして状況を確認している。何かあれば薬剤師に、随時相談出来るようにしている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	今までの暮らしの環境を考慮して、役割を担当してもらったり、趣味を楽しんでもらったりして、楽しみごとを支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	一人ひとりの希望に沿って、散歩をしたり、買い物をしたり、お墓参り、外食などに家族やボランティアに協力してもらいながら対応している。	日課として毎朝、施設玄関先の駐車場スペースに長椅子を置き、外の空気にあたり気分転換を図り、天気の良い日は近所の散歩などを行っている。又、利用者の外出希望を把握し家族の協力を得ながら、墓参り、買物、居酒屋など出来る限り支援している。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	一緒に買い物に出かけ、お金を使えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>希望があれば、いつでも電話をしたり、手紙のやり取りが出来るように対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>季節ごとに模様を替えたり、花やみどりを取り入れたりして、過ごしやすい環境を作るように心がけている。</p>	<p>リビングには、行事の際の写真や利用者が作られた刺繍絵が展示されており、季節ごとに模様替えがされている。掃除等も行き届いており、落ち着いて過ごして頂けるように工夫されている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>リビングでのソファ、多目的ホール、応接室、職員室、屋上など自由に過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>本人や家族の意向に沿って、馴染みのものや写真などをもってきてもらい、自由に置いたり、飾ったりして、快く過ごしてもらえるようにしている。</p>	<p>利用者・家族の意向に沿って、本人が今まで自宅で使っていた馴染みの仏壇・置物・写真を持ち込まれ、利用者が居心地が良い居室になるよう工夫し対応されている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>バリアフリーに対応しており、廊下やトイレに手すりがあり、歩行練習や筋力トレーニングをする道具や機械が備えてある。</p>		

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらい ③利用者の3分の1くらい ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の3分の2くらいが ③家族等の3分の1くらいが ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 安芸ひまわり

作成日 26年4月16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の開催が少ない	定期的な会議の開催	会議のメンバーの入れ替えをはかり、定期的に会議を開催し、活性化をする	三か月
2	6	家族からの要望、苦情などの情報が少ない	家族からの情報収集	家族からの意見などを意見書に具体的に記載し検討する	六か月
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。